

# ビジネス界

2012  
(平成24年)

3

定価800円

平成24年2月20日発行(毎月20日発行)  
昭和56年12月28日第3種郵便物認可  
第32巻第3号(通巻317号)

インタビュー

廿日市商工会議所会頭 細川匡

「自分さえ良ければ、という時代ではない。  
地域の活性化には連携強化が大事です」

ふくやま生涯  
教育研究会 **で熱演した** 公益財団法人能宗文化財団  
福山自動車時計博物館館長 **能宗孝氏**  
「歴史文化を壊わしてのまちづくりは物申す」

官庁街

国土  
交通省

中国地方整備局長 **戸田和彦**

議会議員

反松井のレッテルを張られて……  
広島市議会議員 **藤田博之**

**広島銀行トップ** 高橋正会長  
角廣勲頭取 **交代へ!**  
「頭取」本命・沖藤益士 副頭取 **対抗・川平伴勅** 専務 **マッチレース**

特別寄稿④

「金正日」死後の北朝鮮と  
日・米・韓の戦略

元大韓民国空軍大佐 **崔 三然**

表紙の人

**岩本 隆雄**

マックスバリュ西日本(株)社長



# 「ふくやま生涯教育研究会」の新年例会

公益財団法人能宗文化財団  
福山自動車時計博物館館長

## 能宗孝氏が講師として熱演

「税金の無駄遣いで歴史文化を壊わしてのまちづくりに物申し、立ちはだからなくてはいけない、違いますか？」



1943年(昭和18年)7月4日福山市生まれ。アメリカ・カンザス大学留学後、1966年(昭和41年)(株)菊屋入社。現在、全国商店街振興組合連合会、商店街活性化アドバイザー、北部再開発努力会代表、福山大黒町商店街振興組合理事、福山自動車時計博物館館長、(株)菊屋マンション代表取締役。福山市大黒町胡町商店街の再開発として鹿鳴館調の街づくりを推進した中心人物で、全国各地の市町村、商工会議所、商店街から多くの視察団が来町、また“街づくり”の講演は全国各地より依頼がある。現在、福山市内に11ヶ所、630世帯の賃貸マンションを所有する。

定年退職しても、あるいは還暦を迎え、人生八十年の一つの区切りまできても、人生路・社会は奥が深く、残りの人生を勉強して、自分に、また社会へ少しでも役立てば―というような組織が「ふくやま生涯教育研究会」(縄稚輝雄会長)である。

会員には元のつく教育者や公務員、経営者、サラリーマン、あるいは年金生活者などの他、第一線で働く弁護士、政治家、医者、芸術家など現役の方もおられるなど多彩。会は平成八年四月に設立され十六年目であるが、この間毎月例会を開催し、これまで一八五回を重ね、毎回十五〜四十人が参加

する。そしてゲストの講師には片山宥雄氏、佐橋慶女氏、平岡敬氏、木原秀成氏などが招かれている。

平成二十四年の第一回新年例会が一月二十一日(土)、ニユーキヤッスルホテルで開催されたが、講師は公益財団法人能宗文化財団「福山自動車時計博物館」館長の能宗孝氏。能宗氏は福山市内に十一棟六百三十室の賃貸マンションを経営する(株)菊屋マンション社長でもある。十一時三十分から始まった例会で能宗講師は「なんで僕が招かれたかは知らないが、僕は行政に対して言いたいことを言うし、市からも目の敵にされとる。



そんな僕を呼んで大丈夫でしょう  
か？」と主催者に疑問をぶつつけ  
た。これに対し主催者の事務方は  
「研究会は偏見を持って先生方を  
選んでいるわけではありません。  
会員の中からも、ああいう人の話  
を聴きたいという声がありました。  
したがって私たちの知らない話を  
聴けるものと期待しています」と。  
意外？そんな能宗氏は「そんな  
もんですか」と苦笑い。例会が始

まる。司会者が「新年一月の生涯  
研究会の例会を始めるわけですが、  
今日非常にすばらしい先生をお迎  
えしての例会でございます。会長  
の御挨拶から。

縄稚輝雄会長は「改めておめで  
とうございます。旧新年は色々あ  
った世の中ですが、今年こそ良い  
年になりますよう願っております。  
今日の能宗先生にはお忙しい中お  
越し頂きました。先生ありがとうございます  
ございました」能宗氏と面識のあ  
る役員が「能宗先生というのはす  
べて『本音』の方です。とにかく  
歯に衣着せぬ方だと聞いておりま  
す。それだけに色々な人からの批  
判もあると思いますが、先生は一  
切意に介さず、我道を行くという  
方で、本当にそういう意味では坂  
本龍馬じゃないかと思っています。  
『言えはいえ、我やること我のみ  
ぞ知ること』と、そんな思いを持  
ってお話を聴けると思います」

能宗講師は大体次のような話を  
した(要約)。

「福山は僕のように、行政に注文  
を付けるのは亜流で、有る物を壊

して新しく作るという、不必要な  
金をよく使う方が主流、学者とか  
政治家とか、それに福山市の羽田  
市長。このように僕はいつも本音  
で言う。多分みんな『そうだ』と思  
っていると思う。ですが口には出  
さん。出して亜流になってしまっ  
たことを知つとるから。ゆうだけは  
湯屋と髪結い屋、JC(青年会議  
所)だけでいい。この三つは言い  
たい放題でいいと、責任が伴わん  
でいいんだから。JCの人こそ、福  
山の将来を考えなくてはならない。

我々は、私が言うことやること  
は『勝負』ということになるから  
必ず責任が伴う。ところが福山市  
の場合は、責任を追求するのは庶  
民ばかりで福山市議員は追求し  
ない。市議にしても行政と馴れ合  
いじゃないですか。で僕が辛口言  
うのは、僕はフェイスブックに書  
いています、反論異論があつた  
ら言いなさいと。今までのインタ  
ーネットはBBSとか2ちゃんね  
るで、菊屋マンションは傾いてい  
るから危ないとか、あそこへ住む  
のはろくでもない奴ばかりとか、  
アレはしっかりしとらんから、息

子の代になつたらつぶれるとか。  
能宗は親の金で米国留学して、勉  
強せず遊んでばかりしていたとか。  
僕が反論しようと思つても名前出  
さないで勝手に書いている。

僕が邪魔クソになる勢力が、う  
ちのマンションにあるコーラマシ  
ーン、室外機、ベランダの洗濯機、  
街頭ポールの四回放火をやった。  
五回も犬や猫やイタチの死骸を風  
呂敷やダンボールに入れて博物館  
の前に置いている。神社には出刃  
包丁が置いてある。ダンプで博物  
館のガス燈にぶっつけて二本倒し  
た。僕がドイツに行った時は三本  
目は燃えていた。それは何かとい  
うとヒットラーが恫喝するのと一  
緒でしょう。違いますか。このた  
び状況が変わったというのはフェ  
イスブックは記名入りだから、能  
宗の悪口書けない。書いたら本人  
の名前が分かる。文句があるんな  
ら堂々と名前を出して悪口言え  
ええ、違いますか。

福山は平和と鳩と人権とバラの  
街。バラはイバラでも色々ある。  
イバラと言うても荊冠旗と言うて  
部落解放同盟のバラですが、福山



## 市民憲章

- 心に太陽をもち胸をはって元気に働きましよう
- 小さな親切を勇気をもって行いましょう
- きまりを守りよい習慣をつくりましょう
- 子どもたちのために明るい家庭と美しい町をつくりましょう
- 文化を育て健康で平和な社会を築きましよう
- 人権を尊重し差別のない人間関係をつくりましょう

▼文字で隠れた市章旗のこうもりやま

▼部落解放同盟の荊冠旗



市の市章旗は何か知ってますか？ 市議会でコウモリは保守的じゃけ変えようと市議員の者が言うても変えなんだが今全部バラになっている。リーデンローズ、巡回バスのまわローズ、ビッグローズ、ローズコム、ローズアリーナといったように、ローズマインド、ローズでマインドコントロールです。ここは人権の街ですが、人権の街言うのは情報開示しないこと。開示することは人権蹂躪というのが福山市の考えです——」

「それと羽田市長を訴える裁判のことをお話ししたい。まちづくり

▲人権学習の館「ローズコミュニティセンター」。別名「中央図書館」という。



に大きく関わることでからです。私達は福山駅南口に福山市民のための集えるオアシスを作ろうと、水辺公園プロジェクトをつくり、埋蔵文化財の堀と石垣を利用する計画をたて、十一万人の署名を集めました。ところが羽田市長はまったく無視し、議会さえ通過すれば自分達の都合のいいものをつくらうが、問題がないと工事を着工した。もちろん私達は市長の言う、新幹線の見送り、迎えのためになるわけがない、地下の封建体制の遺物堀と石垣の完全破壊が目的と。中国電力の先年完成させた福山駅南地下駐輪場の電力代金と、この

度の地下新幹線送迎場の多額の電気代、図書館の総ガラスのために莫大な冷暖房電気代金職場の確保。箱物行政で合計二十五億円の税金出費はまったく無駄な投資であると反対しました。

当時の福山商工会議所会頭のホーコス社長菅田泰介氏が絶対に自分の会社の客の送迎に必要と強行に市長に工事着工をいそがせた、その菅田氏は東京で不慮の事故でお亡くなられました。

訴訟は無駄な金(税金)をJRの土地の中になぜ福山市の税金でコンクリートの構築物をつくるのか？福山市の駅前の土地なのになぜJRが年間五千万円の乗り入れ料を福山市の代わりにとるのか？二十五億円の金はタクシー会社とJRのみのために使っており、無駄金を羽田市長は福山市に弁済しろという訴訟です、もう三年になります。首長も我々を最高裁判所まで引っ張ろうというつもりでしょう。その地下新幹線送迎場は一メートルを超えるコンクリート梁がもうすでに何箇所もひび割れており、そこから鉄錆びの水が落ち

てきている。そんなことでも福山市議会を騙させれば、自分の責任はないとつづけて工事をしていきます。キャスパの前にタクシー運転手さんやバスの運転手さんのためのトイレをつくり、三菱UFJ銀行まえには客が来ないように嫌がらせのように、コンクリートの視界をさえぎる障害の壁をつくった、たぶん福山市金庫を扱う広島銀行や中国銀行に首長の権力を見せ付ける嫌がらせだと思わざるを得ない。違いますか。

私が三菱UFJ銀行の支店長であれば、営業妨害の店舗前の障害物を撤去してくれと抗議します。いくら福山市の伏見町再開発事業に参加しないといってもひどい仕打ちだと思えます。福山市は飴と鞭、市民をおどかして、行政を執行する。ちやうどアメリカが第二次戦争のとき、敵国のドイツと日本のうち日本人を米国の内地地の日本人収容所に収容し、ドイツ人には一切収容はおこなわれなかった。ドイツは人々を恐れさせるために特にポーランドのユダヤ人をガス室でころし、徹底的におそれさせ



# 福山自動車時計博物館館長 能宗孝氏が講師として熱演

た。アルカイダがバーミアン仏教遺跡を破壊したり、ニューヨークの貿易センターを爆破するのをも人を脅すため、それと同じ様なことを福山の首長はされる。

このニューキャッスルホテルさえ閉鎖に追い込もうとする、ホテルまえにはバスが到着できないようにし、不要の三角公園を作ったり、短時間駐車場を妨害するが如くつくっている。路上の自転車有料駐車場や短時間制限乗用車パーキングをもうければ問題は解決できるのに、本通り商店街からホテルのほうにバスも乗用車も未だ永劫に入れないように、故意に地下駐輪場をもうけたり、平櫛田中の岡倉天心像をもうけたり、福山市の観光と商業振興の妨害ばかりをしている。繊維ビルをだめにし、キャスパをだめにし、伏見町をだめにし、残る天満屋とホテルをだめにしようとしている。

実務については藻谷浩介氏とか山口泰久氏とか、全国で金をかけない町作り成功者にきくべきである。福山市民から公園、道路すべてをとりあげ、タクシー駐車場、バス

駐車場とし福山駅前を排気ガスで温暖化したことは許せない。オアシスは水と空気と空間と緑が必要で駅前バス、タクシー駐車場を作るべきでなく、まったくゼロからやり直さないと百年の悔いをのこすことになります。違いますか。「世界遺産」は文化や自然を守るためにあります。そういう時代に、福山は守るのではなく壊していく。外国では百年以上も経つホテル、あるいは古い建物をホテルにしたものが新しい近代的なホテルより価値があるということ料金が高いんです。日本はちょっと古くなるとすぐ壊してお金をかけて新しいものにしたりします。これでは歴史文化は残りません。福山には歴史文化が沢山残っている。これを生かしたまちづくりが必要です。私たちは「市長さん、文化を壊さないで下さい」と福山駅前や大黒町商店街に大横幕を掲げています。だから能宗が憎くてしょうがない。なんとか目の前から消えて欲しいと思っているんじゃないですか。

僕は福山に生まれ育った四代目

です。福山を愛している、良くしようということは誰にも負けません。これまで市会議員になれとか、市長選に出るとかそういう話はありましたが、僕は自分が政治家になろうと思ったことは全くないし、これからありません。一市民として行政に物申していく——」e t c。その他、市長選、軋問題など「なるほど」と思う直言が一時間にわたって語られた。話し終えて参加者たちは「改めて先生から話を聴いて福山の問題がよく分かり、目からウロコが落ちた感じがします。我々も目を開いて愛する福山の問題を直視していきたい」と。

能宗講師は「誰かが言わんと未来に悔いを残す。なんでこんな街になったのか？ 誰も行政に言う人おらなかった？」と言われなために、これからは戦っていきます」

因みに能宗氏の講師・講演は今年に入って一月十七日、安来市観光交流プラザで開催されたNP O 法人着物を着る習慣をつくる協議会・島根県支部・九重が九重

創業九十周年記念「新春文化講演会」を開催。その講師として中国・天津美術学院客員教授の濱田珠鳳氏（女性）と共に招かれたもので、能宗氏は『逆転の発想によるまちづくり』の演題で講演している。

今回の「ふくやま生涯教育研究会」が二回目で、三回目は三月十日（土）、ゲストハウス・ウエディングアルセ（福山市）で開催されるICSO国際青少年文化交流支援機構チャリティー講演会で、第一部は同会代表理事の川内鏐召氏、第三部は広島文化学園大学、福山大学等教授の金文学氏。真ん中の第二部が能宗氏で「逆転の発想による福山市の在り方」の演題で講演する。

能宗氏はこれまで日本経営者協会（東京）を始め。各地の商工会議所、商工会、青年会議所、ロータリークラブ、ライオンズクラブや、広島県中小企業団体中央会や岡山県産業振興財団など二百回の講演回数にのぼる、全国的な「まちづくり」のパイオニア的人物として全国的に知られている。